

分担執筆者リスト

I. 調査の概要

辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・教授
曾根 稔雅 同・大学院生、東北福祉大学・助教

II. 個人特性と機能的予後との関連

辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・教授
曾根 稔雅 同・大学院生、東北福祉大学・助教

III. 運動器の機能向上

大淵 修一 東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室・室長
伊藤 和彦 東京都オリンピック・パラリンピック招致本部・国際事業担当副参事
三木 明子 東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室・研究員
小島 基永 東京都老人総合研究所介護予防区市町村サポートセンター・センター長

IV. 栄養改善

杉山みち子 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科・教授
遠又 靖丈 同・大学院生

V. 口腔機能の向上

植田耕一郎 日本大学歯学部節食機能療法学講座・教授
大原 里子 東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部・講師
相田 潤 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野・助教

VI. 閉じこもり予防・支援

安村 誠司 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座・教授
後藤 あや 同・講師
佐々木 瞳 同・保健技師、大学院生（修士）

VII. 認知症予防・支援

本間 昭 東京都老人総合研究所・参事
矢富 直美 東京都老人総合研究所・主任研究員

VIII. うつ予防・支援

大野 裕 慶應義塾大学保健管理センター・教授
田島 美幸 慶應義塾大学医学部ストレス・マネジメント室・流動研究員
田村 法子 秋葉原ガーデンクリニック・臨床心理士
藤澤 大介 慶應義塾大学医学部精神神経科・助教

編集後記

本調査研究事業は平成 18 年度から 3 年間にわたって行われたものです。本事業の企画実施にあたって多くの方々から多大なご支援をいただいたことに改めて御礼を申し上げます。なかでも厚生労働省老健局の皆様、全国 83 ヶ所の地域包括支援センター・市町村の担当職員の方々、そして何よりも調査にご協力いただいた約 2 万名の方々に、心より感謝申し上げるとともに敬意を表する次第であります。

また調査研究委員会にご参加いただいた先生方には、ご多忙な中、煩雑な統計解析や作表を何度も行っていたいただきましたことに、深謝致します。わが国の介護予防をさらに良いものにしていくとする先生方の熱意こそが、本調査研究委員会の何よりの支えでありました。改めて御礼申し上げます。

また委員会の運営や報告書の作成にあたっては、財団法人日本公衆衛生協会の平野雅久参与、稲泉洋子さん、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・秘書の仲田佳子さんの尽力が不可欠であったことを記し、謝辞に代えたいと思います。

本調査研究が契機となって、わが国の介護予防がさらに発展し、高齢者一人ひとりの健康寿命がさらに延び、そして真の意味で長寿を喜び合える社会が一日も早く実現することを切に望むものであります (I. T.)。

厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
介護保険制度の適正な運営・周知に寄与する調査研究事業
介護予防事業等の効果に関する総合的評価・分析に関する研究
平成 20 年度研究報告書（平成 21 年 3 月）

主任事業者 財団法人日本公衆衛生協会 理事長 北川定謙
分担事業者 辻 一郎
発 行 仙台市青葉区星陵町 2-1
東北大学大学院医学系研究科
社会医学講座公衆衛生学分野
TEL 022-717-8122 FAX 022-717-8125